学校番号	1013

令和２年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２	年次	２年
使用教科書	「科学と人間生活　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	「科学と人間生活新訂版　教科書完全準拠　演習ノート」実教出版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小・中学校の理科および高校1年での化学基礎の学習を終えて、身近な事物・現象や日常生活，社会の中で利用されている技術を科学的な観点で見てみるとどうでしょう？「科学と人間生活」を学びながら，自分たちの生活と科学とのかかわりについて認識を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について，身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ，科学的な見方や考え方を養うとともに，科学に対する興味・関心を高め、自然環境の保全に寄与する態度や、科学技術をより適切に利用していく社会づくりに貢献できる力を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身近な事物・現象に関心や探究心をもち，科学的な視点・考察力を養うとともに，科学技術に対する関心を高める態度を身につけている。	身近な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験，調査などを行うとともに，これからの科学と人間生活とのかかわり方について科学的・論知的に思考し，判断する。	身近な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身につけ，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	科学技術の発展の人間生活への貢献，身近な事物･現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ，これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。
評価方法	ノート･プリントの記述 授業・実験中の態度 授業・実験中の発言 副教材･課題への取組み 出席状況	ノート･プリントの記述 授業・実験中の発言 副教材・課題の内容 定期考査の結果	実験中の態度 実験結果とその記録 考察	ノート・プリントの記述 小ﾃｽﾄの結果 副教材・課題の内容 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	科学技術の発展	科学と技術の始まり 生物学と医療 化学の魅力	○				a.科学の発展の歴史に興味をもち，今日の我々の生活を豊かで便利してきた科学技術がとどのように関わり合って発展したか，身近な科学技術の例から意欲的に学習する。	学習状況 探究活動 ノート プリント 副教材 実験 定期考査
	人間生活の中の科学	物質の科学 材料とその再利用	○	○			a. 金属等にどのような性質があり，製品に利用されているかを意欲的に学習する。 b. 金属等の性質がどのようなものか思考し，判断できる。	
		生命の科学 生物と光	○	○	○		a. 植物と光に関心を持ち，意欲的に学習する。 b. 光合成と光の強さや波長との関係について考察できる。 c. 光合成や光屈性の実験に関する技能を身につけ，結果・考察を表現できる。	
2学期		物質の科学 材料とその再利用			○	○	c. 金属等の種類や性質を認識できる実験技能を習得できる。 d.　金属等の製造法や資源の再利用について理解できる。	学習状況 探究活動 ノート プリント 副教材 実験 定期考査
		生命の科学 生物と光	○		○		a. 動物の行動と光，ヒトの眼の構造と働きに関心を持ち，意欲的に学習する。 c. 眼球の解剖観察，眼の働きの実験，これらに関する技能を身につけ，結果・考察を表現できる。	
		熱や光の科学 光の性質とその利用	○		○	○	a. 光の現象に関心を持ち，科学的な見方・考え方を身につける。 c. 光の性質の観察・実験の技能を習得し，結果・考察を表現できる。 d.光の性質を理解し，身の回りの現象として見出せる。	
		宇宙や地球の科学 身近な自然景観と自然災害	○	○			a. 自然災害に関心を持ち，災害リスクを減らすための科学的な見方を身につける。 b. 自然災害の原因や条件を理解し，リスクを減らすための方法を考えられる。 d. 自然景観の成因や日本列島の成り立ちとその変化について理解できる。	
3学期		熱や光の科学 光の性質とその利用	○		○	○	a. 電磁波に関心を持ち，科学的な見方・考え方を身につける。 c. スペクトルの観察･実験の技能を習得し，結果・考察を表現できる。 d.電磁波の性質を理解し，日常生活で利用されていること見出せる。	学習状況 探究活動 ノート プリント 副教材 実験 定期考査
		宇宙や地球の科学 身近な自然景観と自然災害				○	d. 自然景観の成因や日本列島の成り立ちとその変化について理解できる。	
	これからの科学と人間生活	1年間のまとめ		○			b.　自然と人間生活のかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえ，これからの科学と人間の生活上でのかかわり方を考えられる	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。